

【施設状況】

グループ名称	若槻公民館								
指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」					法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3377	若槻公民館							
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	大会議室、中会議室、小会議室、体育館、南部図書館分室、料理教室、三登山ホール								
施設設置目的	地域の要望・時代の要請に対応する学級・講座の開設、場の提供など生涯学習の推進を図る。								
基本方針等	自主的な学習活動を支援し、互いに高めあい、学びの成果が明るい活気ある地域づくりにつながるような公民館活動の実施を目指す。								
主な実施事業	成人学校講座、おりふし講座、文化祭、館報発行及び編集会議、成人学校作品展、若槻地区内の写真パネル展示等								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定、計画の一部が予定どおり実施されない</li> <li>管理運営の一部において、市の指導が必要</li> </ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定、計画が全て実施されない</li> <li>管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li> <li>市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li> </ul>

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」			指定回数	1 回
指定期間	平成28年4月1日	～	平成31年3月31日	3年	管理運営開始日 平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

2 施設の有効活用

No. 93

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H25	H26	H27	H28	対前年比	評価
	若槻公民館 利用者数	人	66,544	51,200	56,935	53,053	93%	3
	若槻公民館 利用率	%	62	55	61	61	99%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
						#DIV/0!		
(特記事項) 公民館講座および行政が優先的に会場予約しており、申込をお断りする場合があった。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用許可に関する業務</li> <li>社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>教育委員会が定める業務・受講料の收受に関する業務</li> <li>施設の管理に関し、長野市が必要と認める業務</li> <li>おりふし講座（三登山講座・洋ラン栽培教室・フラワーアレンジメント講座フルコンサート等）</li> <li>住自協部会事業への協力</li> </ul>		公民館講座（古文書講座、絵手紙教室、菊栽培教室、楽書・書道パフォーマンス、夏休み体験教室） 地公連共催事業（若槻あいあい文化祭）				
	自主事業							
サービス維持・向上の取組み（広報等）	館報発行回数の増加（H27：3回⇒H28：6回）、様々なジャンルの新規講座増設・実施し、講座利用者増につながっている。公民館利用者数のみを比較すると増加している。（H27：8,355⇒H28：10,248 対前年比123%）							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	各講座後に利用者アンケートを322名に配布し、218名から回答を得た。回収率68%		
	(3) 調査、会議等の結果	調査項目（講座抜粋）：①三登山講座 ②絵手紙教室 ③古文書講座	かなり満足・満足95.6% やや不満・不満4.4% かなり満足・満足100% やや不満・不満0% かなり満足・満足100% やや不満・不満0%	
	・アンケートでいただいたご意見やご要望を会場等の利用状況と照らし合わせながら、次回または新規講座開設に反映させることができた。 ・講座ごとのアンケートは、圧倒的に満足度が高い。そのことが利用者増につながっており講座の内容について利用者から高い評価を得ていると感じている。			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	・毎回楽しみにしている。 ・とても楽しかった。 ・もっと回数を増やしてほしい。 ・新たな講座の希望・提案（28年度は古文書・絵手紙講座開設）		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	・会場が狭い ・隣の会場がサークルのコーラスで、講演が聞こえない。 ・前回も聞いた講演内容		
	《対応措置》	・現状の広さはやむを得ないので、会場設営で椅子の配置を工夫するなどしてご理解をいただいている。 ・サークルとの日程調整の打診をしたが、先生のご都合がつかなかったが、時間差をつけていただいた。 ・受講者の希望に沿うように、講師との打ち合わせを密に講演内容を依頼		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支 (平成28年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算 (前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料	6,560	使用料	2,810,460	3
	指定管理料	12,450,000	指定管理料	12,450,000	雑(納付金)	70,462	雑(納付金)	202,607	
委託料		委託料		行政財産目的外使用料	12,000	行政財産目的外使用料			
販売収入等		販売収入等		その他		その他			
その他収入	2,898,000	その他収入	3,163,874	計	89,022	計	3,013,067		
受講料		受講料							
計	15,348,000	計	15,613,874						
支出	人件費	8,153,000	人件費	8,082,468	指定管理料	12,450,000	指定管理料		
	設備管理費	795,100	設備管理費	769,655	委託料		委託料	300,240	
	備品購入費		備品購入費		需用費		需用費	2,205,183	
	修繕費		修繕費		役務費		役務費	79,653	
	光熱水費	1,496,000	光熱水費	1,150,629	使用料・賃借料	2,800,000	使用料・賃借料	3,036,323	
	事業費	3,037,900	事業費	2,921,660	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,785,000	事務経費	2,595,850	工事請負費	259,200	工事請負費	897,480	
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費	43,740	
	その他	81,000	その他		その他		その他	14,887,835	
	計	15,348,000	計	15,520,262	計	15,509,200	計	21,450,454	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		93,612	差引	-15,420,178		-18,437,387	
人件費比率【人件費(賃金等)／平成28年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								52.1%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人)、主事2人(2人)、事務職員1人(1人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		<input checked="" type="checkbox"/>		

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	4
<p>協定内容・指定管理者提案</p>	
<p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p> <p>子どもの春休みに併せた書道講座と参加型の書道パフォーマンスを実施した。高校生を中心に幼児・小・中学生、高齢の方との交流の場をコーディネートすることができた。</p>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由

運営委員会の積極的な開催や、利用者に限らない地域へのアンケートなど実施し、その結果を受けて講座を開設するなど、地域の声を公民館の運営に反映している。また、地域で文化活動の発表の場を必要としていることを受けて、「若槻あいあい文化祭」を実施するなど、地域に根ざした活動を行っている。書道パフォーマンスなどの活動でも広い世代が公民館に集まり、地域各機関との連携を図った点を総合的に評価し地域連携を「4」とした。指定管理の健全性、施設の有効活用、利用者評価、事業収支、管理運営全般、危機管理体制、の項目において、当初の計画どおり、問題なく運営されていた。

取組み・改善案等 (施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等 (改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)

地域課題の把握に努め、公民館での学びが地域に還元されるよう、公民館事業に反映する。アンケート集計後、調査分析により、利用者満足度の高い事業へ展開する。

## 指定管理者自己評価

B

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

- ・地域からの要望や声をすぐに公民館の講座として反映し、新規講座等を開設できた。(古文書・絵手紙)
- ・利用者が利用しやすい環境整備に努め、施設整備の充実を図れた。(会議室・図書室カーテン、体育館遮光カーテン、長机交換等)

## ② 業務の効率化に対する取組み

- ・職員の業務分担を明確にし、事業を行ってきた。
- ・年間行事計画をもとに早めに取り掛かった。
- ・講座を増設したが、職員がローテーションを組み合わせながら対応した。

## ③ その他

- ・成人学校、同好会、サークル、地域公民館活動団体等が一同に会した「若槻あいあい文化祭」が開催される等、指定管理のメリットを活かした事業を実施することができた。

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・公民館講座や事業に高齢世代の意欲的な参加が多くみられるが、若年層の参加が少ない。魅力ある自主事業の企画・実施、また広報のPR力を一層高めていくことが必要。
- ・公民館講座や事業が増加していく中で、会場の空きや収容人数の制限などで公民館講座や事業、他団体との事業が重なったり、サークル活動等に支障が出ないように、利用者が今まで以上に利用しやすいような公民館運営に取り組む。

## (3) 次年度以降の取組み

- ・地域(住自協・団体など)と連携・協力・支援してコミュニケーションの輪を広げ、活力ある地域づくりに資する。
- ・地区ならではの豊かな歴史風土や文化・人材を掘り起こし、世代間をつなぐ学びの場の提供をする。
- ・幅広い世代の利用を促進し、特に子供や若い世代の参加につながるようニーズの掘り起こし、新たな視点での講座企画を進める。

## 【指定管理者自己評価基準】

A: 計画や目標を上回る、B: 計画や目標をやや上回る、C: 計画や目標どおり、D: 計画や目標をやや下回る、E: 計画や目標を下回る